

ふりがな 氏名	よこざわ さとみ	都道府県	東京都	
	横沢 里美			
所属/肩書	公益財団法人 五井平和財団／地球っ子広場担当			
私の ESD活動	地球っ子広場 ～地球人としての素養（ESD マインド）の育成～			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

「地球っ子広場」は、五井平和財団の青少年平和教育事業の一つで、地域の子どもや大人たちが自由に集い、様々な体験活動を通して、共に学びあうための「子どもの居場所」です。和気あいあいとしたふれあいの中で、「地球理解」や「心と生命」などの体験的なプログラムを展開し、子どもたち一人ひとりが地球規模で物事を考え、平和創造の担い手となり、地球市民としての意識が育まれることを目指しています。現在、全国 27 カ所に教室があり、各地教室はボランティアにより運営され、手作りのアクティビティを用意しています。専門家ではない主婦や会社員、学生たちがESDに取り組んでいます。

地球っ子広場には、統一したカリキュラムはありませんが、一貫した「理念」と「行動規範」があり、当財団が提唱している「生命憲章」を活動の基本理念としています。「生命憲章」は、あらゆる生命が調和しあって生きていける平和なビジョンを示し、地球人としての意識やあり方を具体的に示しています。大人が子どもたちを見守るためにビジョンを共有することで、意識を合わせ一枚岩になることができます。また、行動規範として、「3つの約束」(①人にめいわくをかけない②自分のことは自分です③あまった力で、人の手助けをしよう)があります。武道には型があり、スポーツには基本フォームがあるように、この約束も、持続可能な社会を生きる地球人としての素養を身につけるための型のようなものです。価値観が多様化している中で地球人としての原点となり、個人と人類が同時に幸せになるための行動ができるようになると思っています。

成果・実績

- 2008 年には、文部科学省より「放課後活動支援モデル事業」を受託し、「子どもの自発性や創造性を高め持続発展教育(ESD)を推進する活動モデルづくり」に取り組みました。
- 2010年12月には、ユネスコ本部より、国連が定めた「持続発展教育(ESD)の10年(2005～2014年)」の公式活動に認定されました。

・地球っ子広場: <http://www.earth-kids.net/japanese/index.html>

・ESD 優良事例集詳細: http://www.goipeace.or.jp/japanese/ho/2012/announce1209_01.html

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

特に20代、30代は、ライフステージの中で、仕事、結婚、子育てなどを始め、特に将来につながる選択を迫られることに多く直面すると思います。その一人一人の選択が、自分の人生だけではなく、自身が思っているよりも大きく社会に影響を与え、世の中の潮流につながっているのではないかと感じています。日々繰り返される選択の中にある価値観が利己的なものか？利他的なものか？で周りに与える影響だけではなく、やがては自分の周りに起こることも大きく違ってくると思います。自分の人生を生きることで、地球の未来に大きな影響を与える世代。専門家ではなくても、一人一人が「自分事」として地球の未来に向き合うために、日常の中から大きな役割を果たしてゆける可能性があると思います。日常の中から平和を築き、持続可能な未来を創造するための価値観を大衆化してゆくことができるのではないのでしょうか。